

【申入書1】2023年10月10日開催 第32期10月定例理事会議事録の真正性と決算月理事会議事録の改ざん疑義に関する件

株式会社大京アステージ
代表取締役社長 真島吉丸 様

2025年5月19日

ライオンズマンション稲沢管理組合
理事長 長谷川進

貴社におかれましては、日頃より当管理組合に対する管理業務に従事いただき感謝申し上げます。

さて、2023年10月10日に開催されました第32期10月定例理事会の議事録（以下「当該議事録」）の真正性および、その後の取り扱いに関する一連の事実関係につきまして、重大な問題が認識されておりますので、2025年5月18日開催の第33期5月定例理事会の審議結果に基づき、以下の通り正式に申入れいたします。

【1. 当該議事録の真正性について】

当該議事録は以下の経緯に基づき作成された正式な理事会議事録です。

- ・ 議事録素案は当日出席者である長谷川氏が作成。
- ・ 素案は当時の理事長 鈴木氏の指示により、貴社担当 鈴木氏へ送信。
- ・ その後、貴社より12ページにわたる議事録が作成され、長谷川氏の元に返送。
- ・ この12ページの議事録が実際に2024年2月および3月に回覧された事実が複数関係者により確認済み。

さらに、当時の監事 岩井氏の2024年4月9日付弁明書および書記 内海氏の証言により、この議事録が実際の4時間に及ぶ理事会の事実を詳細に記録している唯一の正規記録であることが裏付けられています。従いまして2025年5月18日開催の第33期5月定例理事会の審議結果に基づき、この12ページにわたる議事録を2023年10月10日開催の第32期10月定例理事会議事録としました。

【2. 「2024年3月20日理事会議事録第2号議案」の改ざん疑義について】

2024年3月20日開催の決算月理事会における議事録第2号議案「議事録について」に関して、以下のような重大な事実誤認があります。

- 「当時の議事録とする」とされた根拠について、**2023年11～12月に回覧された2ページ**のみの貴社作成の不完全な議事審議内容記載の議事録を指している可能性が高い。

また、「承認」と記載された審議結果は、**実際には議長が勝手に発言したにすぎず、採決は行われておらず、承認の事実が存在しません。**

したがって、この「承認」という表現は削除され、「議長がそのように発言したのみ」という事実を記載すべきであり、本件は「その他」扱いとするのが妥当です。従いまして2025年5月18日開催の第33期5月定例理事会の審議結果に基づき、審議結果を「その他」へと修正しました。

【申入内容】

以上を踏まえ、以下の点について正式に申入れいたします。

■ 貴社代表取締役社長 真島吉丸様におかれましては、隠蔽されていた正式な**2023年10月10日理事会議事録（12ページ）**を精読いただき、管理業務受託会社の最高責任者としての見解を、書面にてご提出いただきたく存じます。

本件は、区分所有者の意思形成の根幹に関わる議事録の隠蔽及び改ざん問題であり、また善管注意義務を負う管理会社としての業務姿勢・体質の本質を問うものです。

一担当者レベルの回答ではなく、企業としての見解を正式にご提示いただけるよう強く要請申し上げます。

つきましては、**2025年5月23日（金）**までに、社長名義の見解書をご提出いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。